

3) スポーツ・レクリエーション系施設

① 対象施設	
大分類	スポーツ・レクリエーション系施設
中分類	スポーツ施設
対象施設	文化体育館
② 対策の優先順位の考え方	
個別施設の状態 (劣化・損傷の 状況や要因等)	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年（2005年）に建築した施設である。 文化ホールの舞台照明卓、メインアリーナの床材及び舞台機構設備ワイヤーロープ、屋上の防水層、エントランスピロティの柱が経年劣化している。
当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な芸術文化の鑑賞、創造、交流及び普及活動を促進することにより市民文化の更なる向上を図るとともに、市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もってその健康で文化的な生活の向上に寄与している。 文化ホール、アリーナ、トレーニングルーム、会議室等の貸館機能を備えている。 島内随一の集客力を誇る文化及びスポーツ振興の拠点施設として重要である。 災害時の避難所機能を有する。 利用者数 H29：281,000人、H30：277,000人、R1：237,000人
対策の優先順位 の考え方	対策の実施に当たっては、施設の適切な維持管理に努め、財政負担の縮減や平準化を図りながら施設の長寿命化を進める。
③ 個別施設の状態等	
点検・診断によって得られた個別施設の状態	<ul style="list-style-type: none"> 特殊建築物定期調査結果による指摘事項は、電球取替など軽微なものである。 文化ホールの舞台照明卓の更新時期を迎えている。メインアリーナの床材及び舞台機構設備のワイヤーロープが経年劣化している。 屋上の防水層劣化による雨漏りやエントランスピロティの柱の塗装剥がれを確認している。
個別施設の状態 以外の事項	文化及びスポーツの振興を図る拠点施設として市街地に立地しており、交流人口の拡大に寄与している。
④ 対策内容と実施時期	
<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、施設の構造体、仕上げ等の経年劣化に対応した改修や機能の向上策を講ずる。また現行の運営体制を見直し、指定管理者制度の導入を検討する。 	

- ・文化ホールの舞台照明卓の更新、メインアリーナの床材の張替え、屋上の防水層の改修工事など施設の長寿命化を計画期間内に進める。
- ・施設運営のための財源を確保するため、ネーミングライツ導入を検討する。

① 対象施設																																	
大分類	スポーツ・レクリエーション系施設																																
中分類	スポーツ施設																																
対象施設	市民交流センター																																
② 対策の優先順位の考え方																																	
個別施設の状態 (劣化・損傷の 状況や要因等)	複合施設であり開設年度はそれぞれ、本館が昭和53年（1978年）、プール棟が昭和63年（1988年）、野球場が昭和42年（1967年）、陸上競技場が昭和43年（1968年）となっており、その経過年数から、総じて劣化が進行している。																																
当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設は、文化・スポーツの振興を通じ、市民の心身の健全な発達と文化的な生活の向上に寄与している。 ・体育館、会議室、ホール、屋内水泳場、陸上競技場からなる交流文化施設として利用されている。 ・平成22年度（2010年度）の指定管理者制度導入後、利用者数は増加していたが、直近5年の利用状況は、導入以前と比べて減少傾向にある。 ・利用者数 (人) 																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール</td> <td>18,192</td> <td>16,815</td> <td>14,156</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>23,796</td> <td>23,900</td> <td>19,902</td> </tr> <tr> <td>体育室</td> <td>24,457</td> <td>22,788</td> <td>23,007</td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>28,930</td> <td>28,714</td> <td>26,886</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>13,099</td> <td>13,317</td> <td>11,783</td> </tr> <tr> <td>陸上競技場</td> <td>17,431</td> <td>15,525</td> <td>11,443</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>125,905</td> <td>121,059</td> <td>107,177</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	R1	ホール	18,192	16,815	14,156	会議室	23,796	23,900	19,902	体育室	24,457	22,788	23,007	プール	28,930	28,714	26,886	野球場	13,099	13,317	11,783	陸上競技場	17,431	15,525	11,443	計	125,905	121,059	107,177
		H29	H30	R1																													
	ホール	18,192	16,815	14,156																													
	会議室	23,796	23,900	19,902																													
	体育室	24,457	22,788	23,007																													
	プール	28,930	28,714	26,886																													
	野球場	13,099	13,317	11,783																													
	陸上競技場	17,431	15,525	11,443																													
	計	125,905	121,059	107,177																													
<ul style="list-style-type: none"> ・本館施設（ホール、会議室、体育室）について、体育室は一定のニーズがあるが、本館全体の利用者数は減少傾向にある。 ・プールは、各種教室へのニーズの高さが見られる。なお、市内に市営の代替施設はない。 ・野球場は、主に軟式の大会が多く開催されているが、利用者は減少傾向にある。 ・陸上競技場は、島内唯一の公認陸上競技場として、大会や記録会が開催されているが、利用者は減少傾向にある。 ・災害時の避難所機能を有する。 																																	

<p>対策の優先順位の考え方</p>	<p>対策の実施に当たっては、施設の老朽度、劣化・損傷の状況や個別施設の状態などに加え、利用状況、類似施設の状況なども考慮して施設量の最適化を判断するとともに、市民生活に必要な施設等については、安全確保を優先し、可能な限り長期間使用するための対策を講ずる。</p>
<p>③ 個別施設の状態等</p>	
<p>点検・診断によって得られた個別施設の状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本館は施設全体的に雨漏り等があり、外部では、外壁等に損傷などが見られる。本館内部について、ホールでは、音響や空調等の設備の老朽化、体育室では、床板、照明設備が経年劣化している。 ・プール棟では開設当初から使用している設備の劣化に加え、鋼板屋根の発錆、雨漏り等が見られる。 ・野球場は、管理棟、電気設備等が経年劣化しているほか、擁壁の傾きが見られる。 ・陸上競技場は、管理棟及び倉庫の鉄部が発錆している。
<p>個別施設の状態以外の事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場は、島内唯一の日本陸上競技連盟公認陸上競技場（第4種）であり、淡路陸上競技連盟、中体連、高体連等の大会、記録会が実施されている。 ・公認の更新には5年に1度日本陸上競技連盟の検定を受ける必要があり、規程の改正への対応やグラウンドの整備等に工事費等の公認更新経費が必要となる。
<p>④ 対策内容と実施時期</p>	
<p>市民交流センターでは、敷地内全体の将来的なあり方、果たすべき役割を定める必要がある。</p> <p>このことを踏まえ、機能別に整理すると次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体育館・ホール・会議室については、文化体育館等他の施設で代替可能であり、機能ごとに老朽度、劣化・損傷の状況をみながら廃止及び除却を検討する。 2 屋内プールについては、計画期間の前期を目途に大規模改修により長寿命化を図る。 3 陸上競技場については、新たな公認競技場の設置を求める要望を継続して県に働きかけるとともに、その状況を踏まえ、第4種競技場の公認見送りを検討する。 4 老朽化著しい野球場については、計画期間後期に五色県民健康村グラウンドや民間施設を含めた市内外の類似施設の活用策について検討する。 	

① 対象施設	
大分類	スポーツ・レクリエーション系施設
中分類	スポーツ施設
対象施設	五色台運動公園（アスパ五色）
② 対策の優先順位の考え方	
個別施設の状態 （劣化・損傷の 状況や要因等）	<ul style="list-style-type: none"> ・天然芝グラウンド及び多目的広場並びにクラブハウスは、平成13年（2001年）に建設した施設である。天然芝観覧席庇の塗装剥がれがある。 ・体育館は、平成15年（2003年）に建築した施設である。外壁躯体や外装仕上げ材、屋上の防水層が経年劣化している。 ・健康ふれあい広場は、平成19年（2007年）に建設した施設である。管理棟の外装仕上げ材が経年劣化している。
当該施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの振興を通じ、市民の心身の健全な発達を図り、もってその健康で文化的な生活の向上に寄与している。 ・天然芝グラウンド、多目的広場、体育館、雨天練習場、パークゴルフ場、会議室等の貸館機能を備えている。 ・高い認知度と充実した設備を備えており、島内外を問わず多数の方に利用されるスポーツ・健康づくりの拠点施設として重要である。 ・災害時の避難所機能を有する。 ・利用者数 H29：168,000人、H30：164,000人、R1：154,000人
対策の優先順位の考え方	対策の実施に当たっては、施設の適切な維持管理に努め、財政負担の縮減や平準化を図りながら施設の長寿命化を進める。
③ 個別施設の状態等	
点検・診断によって得られた個別施設の状態	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館は、特殊建築物定期調査結果により体育館屋上の防水層劣化による雨漏り、外壁躯体や外装仕上げ材の劣化による損傷の指摘を受けている。 ・天然芝メイングラウンド観覧席庇の塗装剥がれを確認している。 ・雨天練習場は、テント屋根等が経年劣化している。 ・健康ふれあい広場管理棟は、外装仕上げ材が経年劣化している。
個別施設の状態以外の事項	島外からの交通の便が良好である。全国に誇るオールシーズン使用可能な天然芝グラウンド、島内随一の規模を誇る体育館、島内唯一のパークゴルフ場は充実した設備を備えている。官民連携等により周遊性を高めることで、更なる交流人口の拡大を期待できる施設である。

④ 対策内容と実施時期

- ・必要に応じて、施設の構造体、仕上げ等の経年劣化に対応した改修や機能の向上策を講ずる。
- ・天然芝メイングラウンド観覧席の修繕工事、体育館屋上の防水層や外壁躯体及び外装仕上げ材の修繕工事、健康ふれあい広場管理棟の外壁防水塗装工事など施設の長寿命化を計画期間内に進める。

① 対象施設				
大分類	スポーツ・レクリエーション系施設			
中分類	レクリエーション施設			
対象施設	高田屋嘉兵衛公園（ウェルネスパーク五色）			
② 対策の優先順位の考え方				
個別施設の状態 （劣化・損傷の 状況や要因等）	施設の供用開始から20年以上が経過しているため、各所において老朽化が進んでいる。			
当該施設が果た している役割、 機能、利用状況、 重要性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設、レストラン、ログハウス、オートキャンプ場は観光客に人気があり、温浴施設や芝生広場などは市民に広く利用されている。 ・ 主要施設の利用者数 (人) 			
		H29	H30	R1
	浜千鳥宿泊	7,715	7,249	5,981
	浜千鳥レストラン	41,451	38,625	32,221
	ログハウス	16,295	15,502	14,698
	オートキャンプ場	14,737	14,501	16,428
	ゆ〜ゆ〜ファイブ	152,779	135,052	149,715
	GOGOドーム	11,826	11,038	10,131
	計	244,803	221,967	229,174
対策の優先順位の 考え方	対策の実施に当たっては、施設の適切な維持管理に努め、財政負担の縮減や平準化を図りながら施設の長寿命化を進め、合わせて新たな魅力を創出する。			
③ 個別施設の状態等				
点検・診断によ って得られた個 別施設の状態等	ゆ〜ゆ〜ファイブのボイラーの老朽化が激しい。			
個別施設の状態 以外の事項	特になし			
④ 対策内容と実施時期				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅登録に向けた施設整備を行う。整備に当たっては、将来の人口や財政見通しを踏まえ、持続可能な施設となるよう、予算・設計・規模等、十分な検討を行う。 ・ 各施設については、改修・長寿命化を実施する。 				

- GOGOドームを除却後、跡地の新たな活用策を検討する。

① 対象施設	
大分類	スポーツ・レクリエーション系施設
中分類	レクリエーション施設
対象施設	由良交流センター（エトワール生石）
② 対策の優先順位の考え方	
個別施設の状態 （劣化・損傷の 状況や要因等）	平成11年（1999年）に建築された施設であるが、海岸に隣接しているため、台風時には激しい風雨を受け、営業に支障をきたすほどの雨漏りが生じている。
当該施設が果た している役割、 機能、利用状況、 重要性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自然学校や体験学習などを通じて都市と農山漁村との交流が促進され、地域の活性化が図られている。 ・令和元年度（2019年度）は大学のクラブ合宿等の受入れが好調で、夏季営業は過去最高の売上となった。 ・利用者数 H29：11,226人 H30：9,781人 R1：9,490人
対策の優先順位 の考え方	対策の実施に当たっては、施設の適切な維持管理に努め、財政負担の縮減や平準化を図りながら施設の長寿命化を進める。
③ 個別施設の状態等	
点検・診断によ って得られた個 別施設の状態等	海岸に隣接しているため、台風時には激しい風雨を受け、営業に支障をきたすほどの雨漏りが生じている。
個別施設の状態 以外の事項	特になし
④ 対策内容と実施時期	
施設の適切な維持管理に努めるとともに、利用者の増加のための経営改善策を講ずる。大規模改修も実施する。	